



『2012年度第3四半期決算発表』

# AEC事業の現状と強み

---

オムロンオートモーティブエレクトロニクス(株)  
代表取締役社長 鈴木吉宣

---



# AEC事業のミッション

## ひととクルマのベストマッチング 社会とのベストパートナーを目指して

- ▶ オムロングループ創業理念をベースにクルマ社会に向けた新たな価値の創出に取り組んでおります。
- ▶ 1983年に車載電装事業を発足し、この業界に本格参入して以降、来年度で30年目を迎えます。

# AEC事業の特徴

**お客様**

**独立系を生かした  
パートナーシップ**

**事業運営**

**グローバル事業展開**

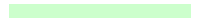
**技術・商品**

**電装領域に特化  
した専業メーカー**



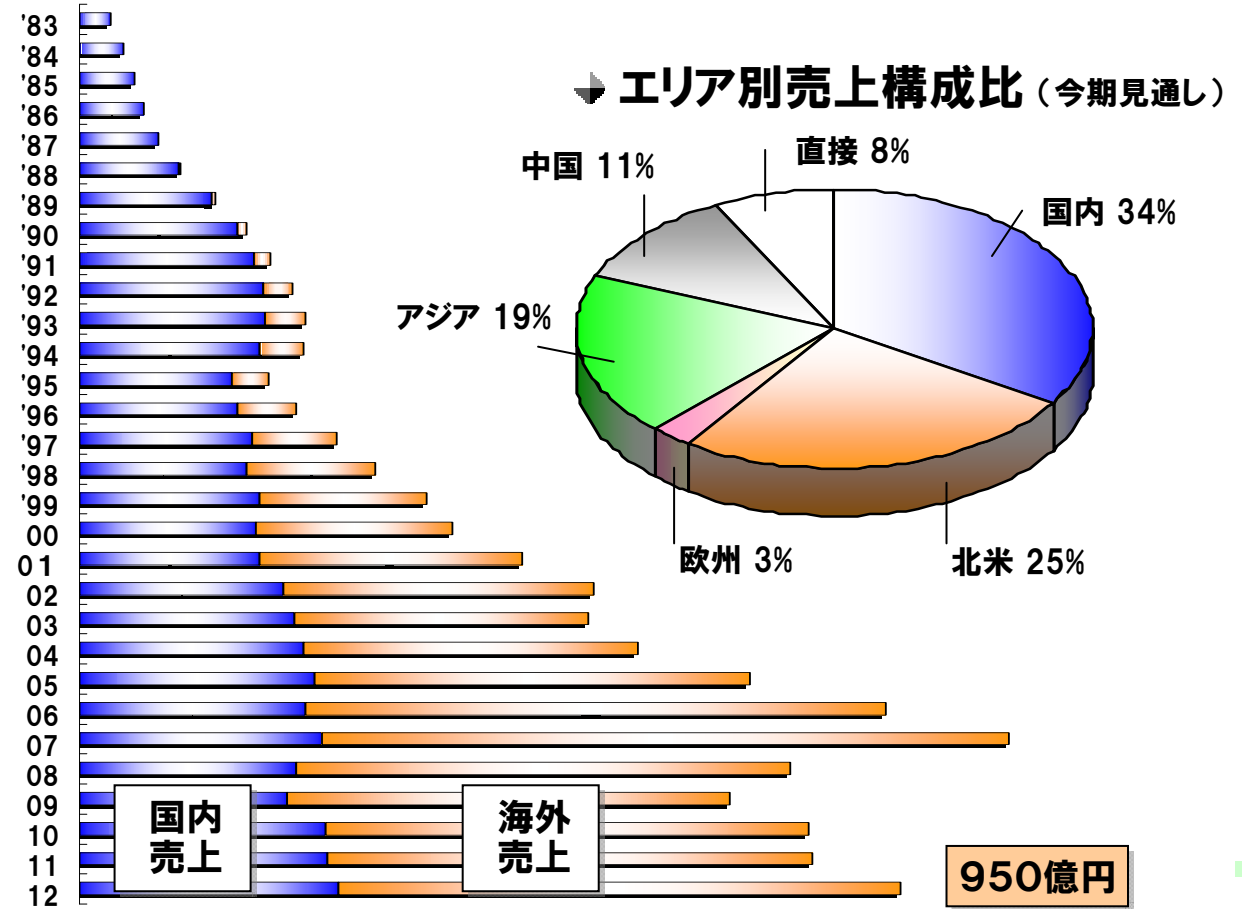
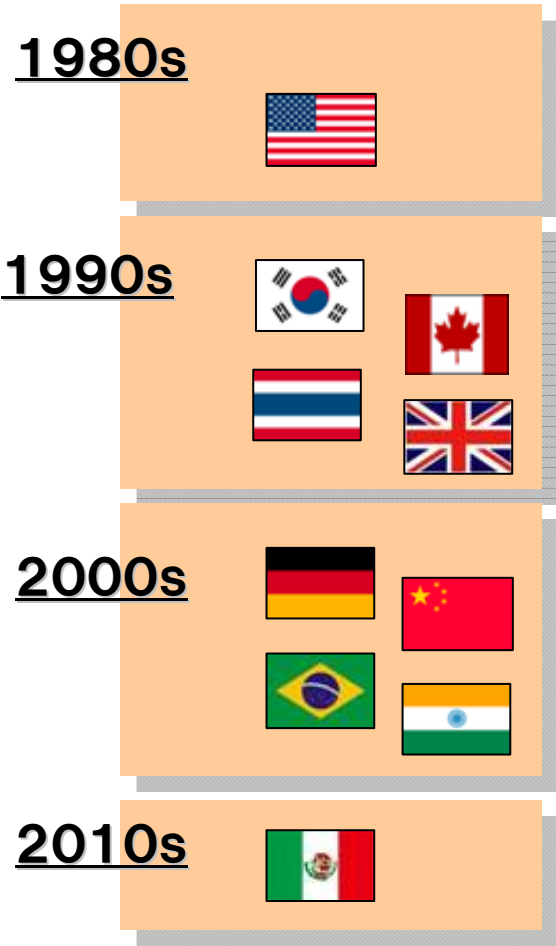
# 独立系を生かしたパートナーシップ

独立系としての強みを生かして多くの自動車メーカー様、自動車部品メーカー様とお取引させて頂いております。



# グローバル事業展開

海外事業への展開により成長を支えており、現在、10カ国において、生産・販売・開発といった事業活動を展開しています。

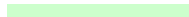


# カーエレクトロニクス領域へ特化

オムロンのコアテクノロジーである“センシング&コントロール”を進化させ、様々なカーエレクトロニクス技術、商品を提供し続けます。

**快適**      **利便**      **安心**      **環境**

**システム事業**      **スイッチ事業**      **モーター制御事業**      **コンポ事業**      **環境アプリ事業**

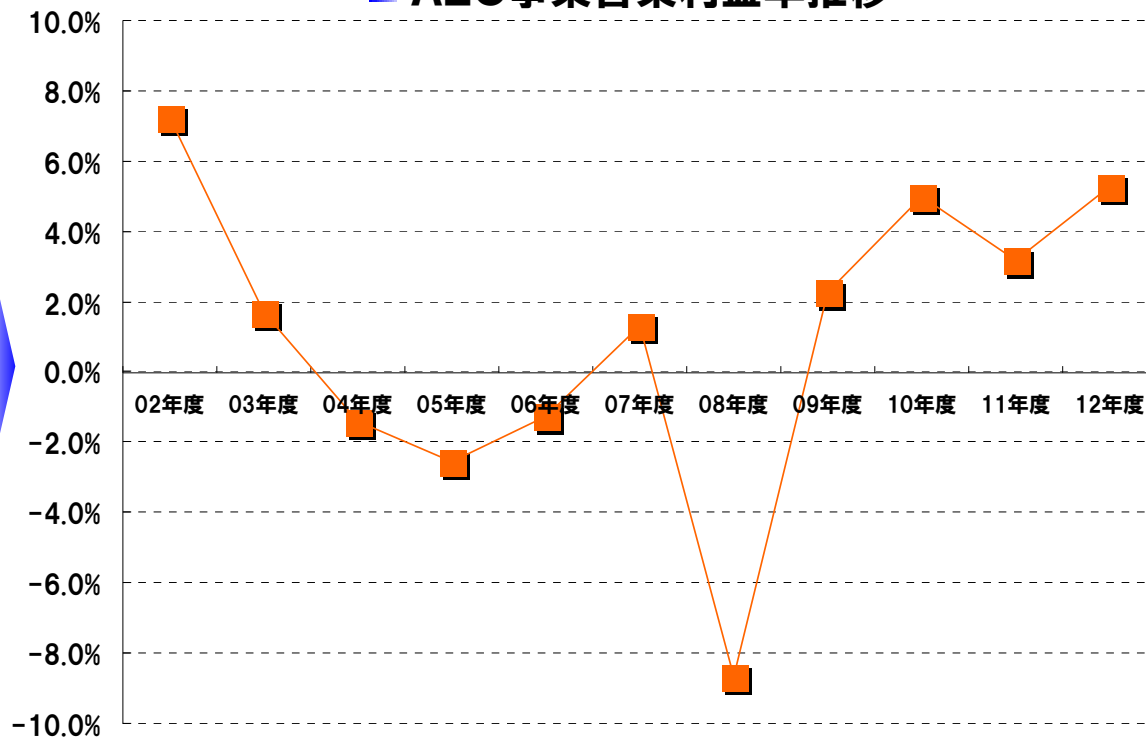


# 構造改革による収益改善

構造改革を断行した結果、自動車部品業界平均水準の収益性体質へ改善することができました。

- ➔ 注力事業見直し
- ➔ 生産構造改革
- ➔ 運営強化

■ AEC事業営業利益率推移





# 成長と収益のバランス経営

グローバル経営

**Global One Team  
経営**

競争力

**コスト競争力強化**

成長

**成長領域への取組**



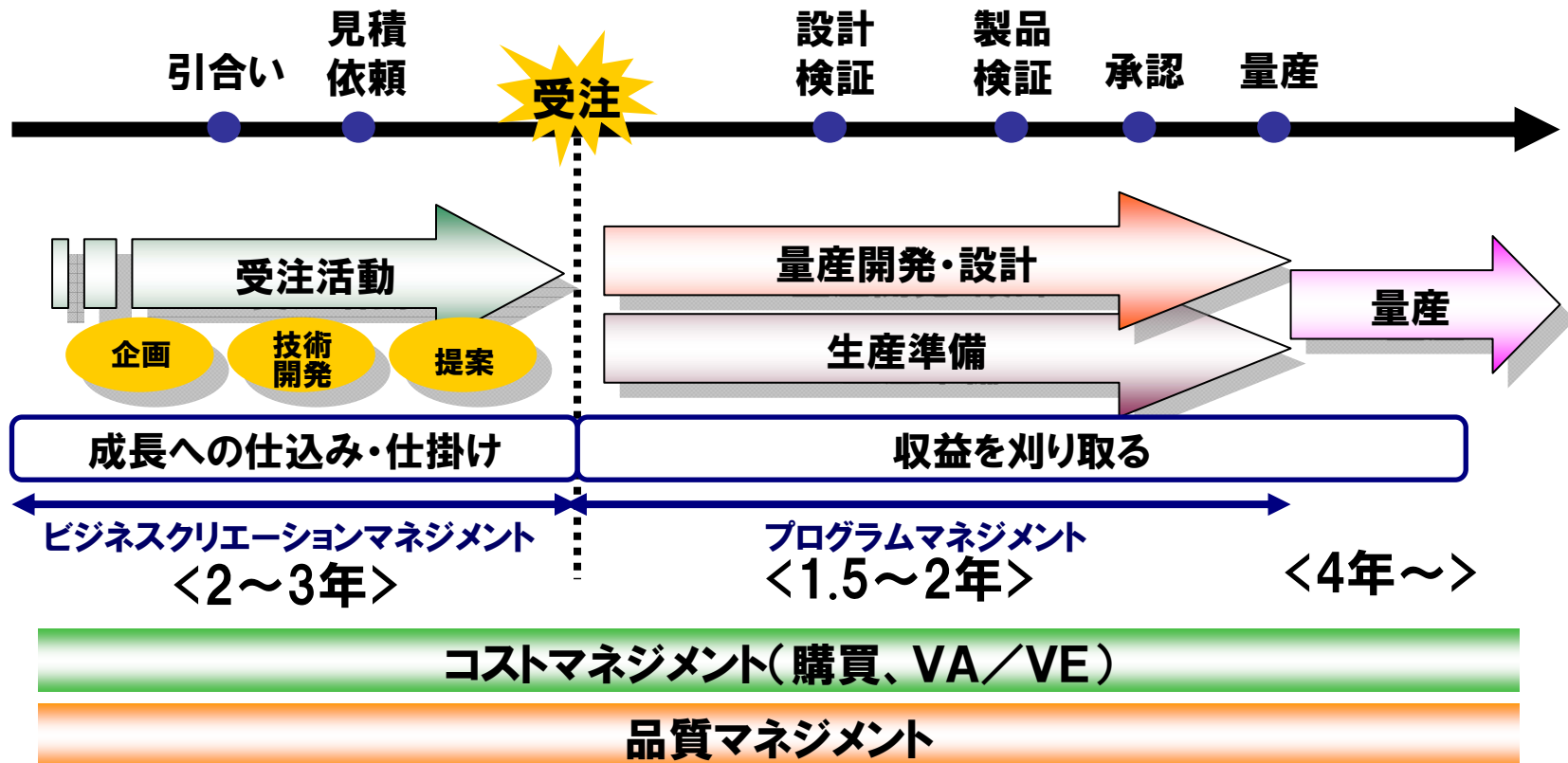
# Global One Team 経営

国内各機能がマザーとしての責任と役割をより発揮し、有機的に結びつくことでグローバル各エリアの自立経営を推進します。



# コスト競争力の強化

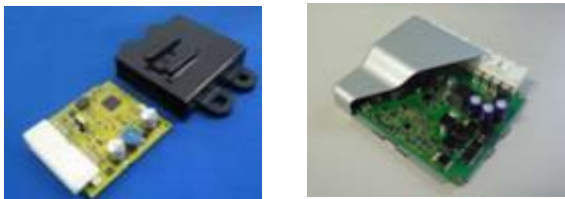
コスト競争力を実現するため、企画・提案といった商談テーマの上流ステージでコストをつくり込む全社的な活動を推進します。



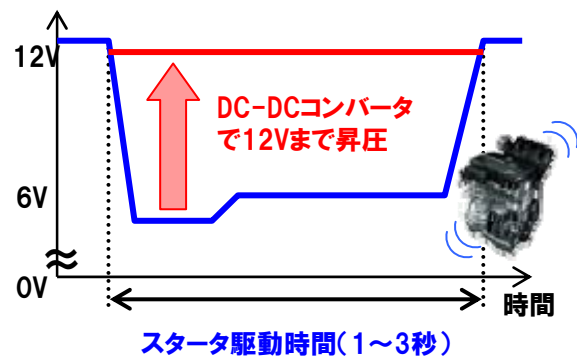
# 成長領域～環境車事業

省エネルギーへの取組や電気自動車など環境車への対応を成長領域とした技術・商品開発に取り組んでゆきます。

アイドリングストップ用ECU  
/DC-DCコンバーター



バッテリー電圧



## 電池管理



セル監視ユニット



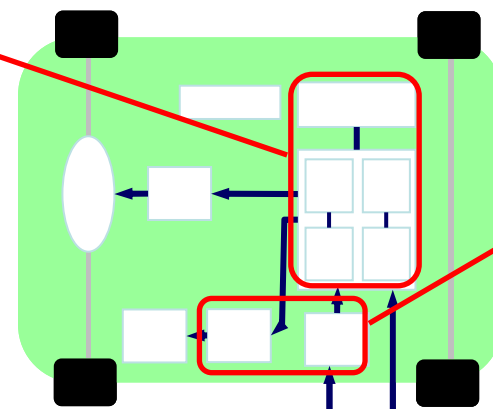
漏電センサ



電池管理ユニット



電流センサ



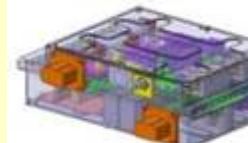
## 電力変換



車載充電器



xEV用DC/DC

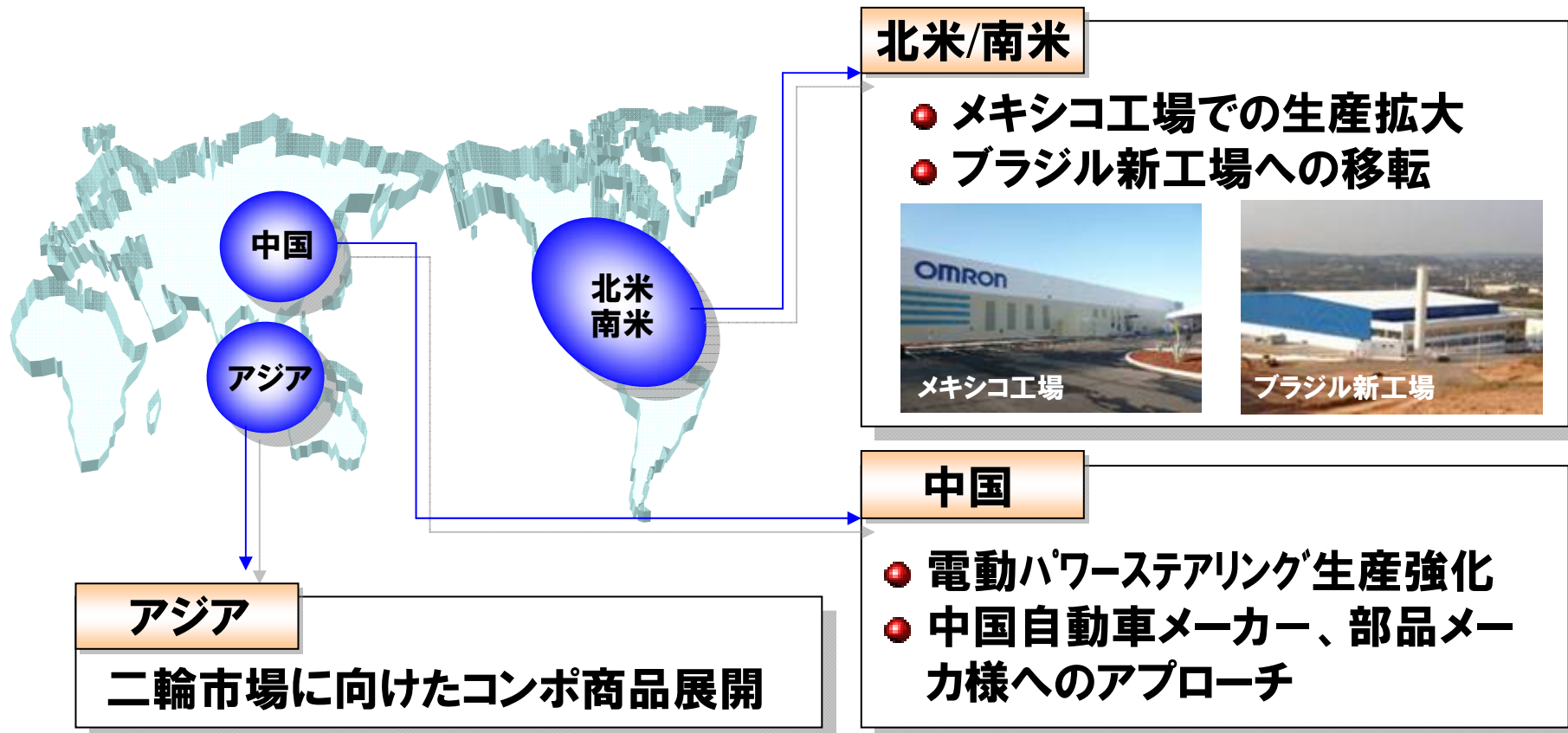


DC/DC  
一体充電機

※電動自動車:HEV/PHEV/EV/FCEV(燃料電池車)

# 成長領域～エリア事業強化

成長が見込まれる各エリアごとの車載電装市場にマッチした事業戦略とその実行を支える経営インフラ整備を遂行します。





# AEC事業 VG2020

OAE 2020年に向けたビジョン



## VG2020ビジョン“新”起業宣言

クルマ社会における課題と向き合い、全員の総合力を結集することで、独自のソリューションを提供し続け、安心して喜ばれる価値を創出する。

VG2020(~20年度)

チャレンジを通じて  
人と組織が成長し、  
競争優位を進化し続ける

Globeステージ(~13年度)

「質」強化と成長への仕掛

未来優先



現在

12年度OAEグループ経営方針

グローバル運営のレベルアップに向けた、  
プラットフォーム(PF)づくりと展開



**ご清聴ありがとうございました。**